

千葉市内に都市型用地

都市部近郊での新たな産業用地の整備も進

にも近接。住宅地にも近く、従業員が通いやすい条件が整う。

総事業費51億2900

万円のうち、進入道路や下水道、調整池など周辺インフラの整備に、千葉市が10億円を上限に負担する。民間事業者と組むことで、市の財政負担を軽減するとともに、企業

の菅田駅から徒歩10分、分譲面積は18畝。駅から加え、千葉外房有料道路が売り。高田インターチェンジ

企業では労働力の確保

高田インターチェンジ